

日曜参観（6月1日）時のアンケート結果より

日曜参観の際、授業や日頃の児童の様子についてアンケートを実施し、176名の保護者の方より回答いただきました。また、保護者だけでなく児童・教職員も対象に、共通する項目で受け止め方の比較ができるようにしました。その結果をお伝えすると共に、結果から見えてくる課題を明らかにし、今後の学校の取組に生かしていきたいと考えています。アンケートのご協力ありがとうございました。

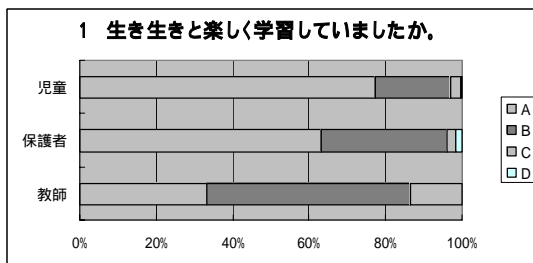
A...できている（している）

B...どちらかといえばできている（している）

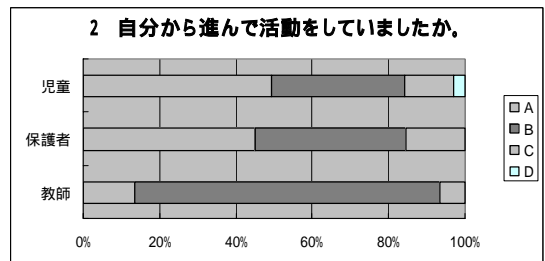
C...どちらかといえばできていない（していない）

D...できていない（していない）

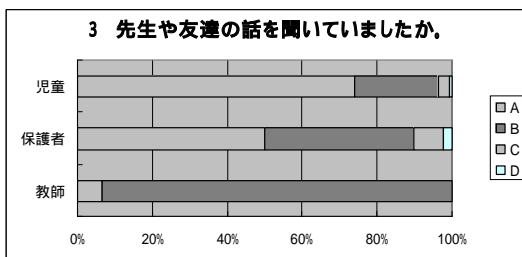
1～5の項目は参観時の授業を見て（受けて）、6～8は、日頃の様子についてです。



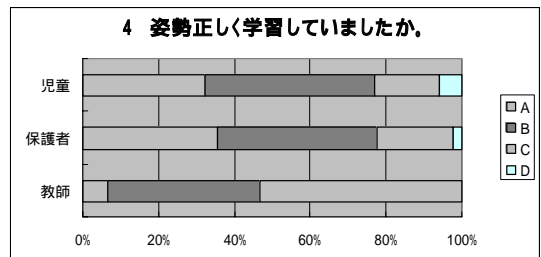
児童・保護者共に約95%が「A」「B」の回答で、ほぼ楽しく学習できていたと考えられているようです。



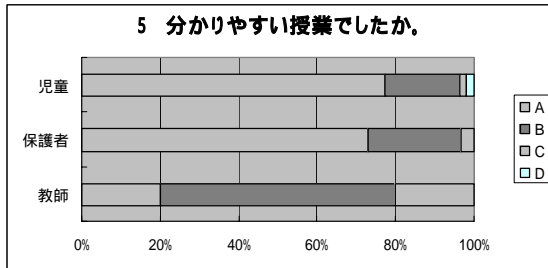
児童・保護者の20%弱が「C」「D」の回答でした。一人一人がより進んで活動することができるように、一層学習形態の工夫や教材開発に取り組んでいきます。



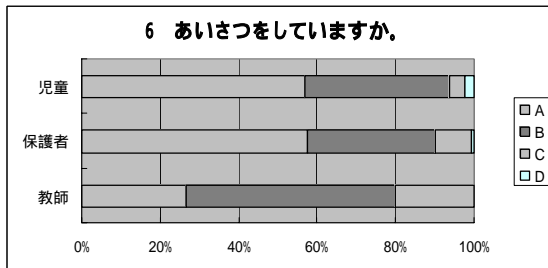
児童はの95%が「A」「B」と回答し、自分では「話を聞いている」と考えているようです。保護者も「C」「D」と回答されたのが10%で、不十分だと考えておられる方が昨年度より減っていました。今後も聞く指導と共に、教師側も児童が聞きたいと思える工夫をさらにしていきます。



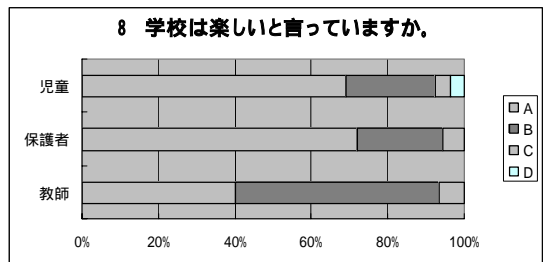
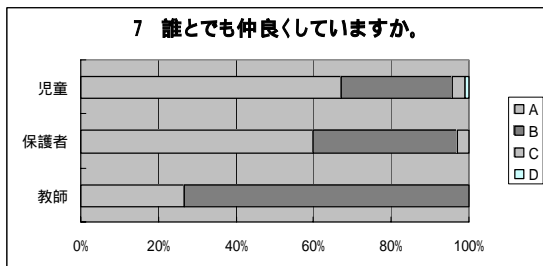
全項目の中で、3者とも「A」と答えた割合が最も低い設問となりました。また、昨年度と比べても、3者とも「C」の割合が増えていました。授業中の姿勢は、話を集中して聞くことや考える活動に大きくかかわってきますので、よりよい姿勢で学習できるように一層指導していきます。



児童・保護者ともに、「A」「B」の回答がほぼ95%と高い数値を示していました。教師は、「B」「C」の回答が80%で、不十分なところもあったととらえているようです。全ての児童が「分かった」「できた」という喜びを得られるように、一層授業研究を進めていきます。



児童・保護者が50%強「A」の回答をしていたのに比べ、教師はその半数を満たさず、「C」の回答も20%ありました。あいさつは人と人とのかわりの基本です。学校でも家庭でも、自分からするのが当たり前になるように習慣化させていきたいと思ひます。



両方の項目は、90%強が「A」「B」を示していました。「おおむね学校生活は楽しく、友達とも仲良くできている」と感じているようです。しかし、10%近く「C」「D」の回答があったことを真摯に受け止めていきたいと考えます。人権を大切にする教育活動を日々進めていますが、一層児童の日常の様子を見つめ、全ての児童が「学校は楽しい」と言えるように取組の充実を図っていききたいと考えます。保護者の方も児童のことで気にかかることがあれば、遠慮なく学校にご相談ください。



一人一人の児童が生き生きと楽しく活動していけるように、今後も学校と家庭と地域が連携し合っていきたいと考えています。宜しくお願いいたします。